

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	ハリウッド美容専門大学校
設置者名	学校法人 メイ・ウシヤマ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
トータル美容専門課程	高度トータル美容学科	夜・通信	18 単位	12 単位	
	トータル美容学科(2年制・昼間)	夜・通信	28 単位	6 単位	
	トータル美容学科(1年制)	夜・通信	4 単位	3 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校サイトの「情報公開」に「実務経験のある教員等による授業科目」を公表。
<https://www.hollywood.ac.jp/moreinfo/disc/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 該当なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ハリウッド美容専門学校
設置者名	学校法人 メイ・ウシヤマ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本法人のサイトの「情報公開」の「法人に関する情報」で公表。 https://mba.hollywood.ac.jp/about/disclosure
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	公認会計士	令和7年 6月14日 ～令和10年 6月13日	財務
非常勤	会社経営者	令和7年 6月14日 ～令和10年 6月13日	運営体制等全般
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ハリウッド美容専門学校
設置者名	学校法人 メイ・ウシヤマ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
高度トータル美容学科、トータル美容学科(昼間部2年制・昼間部1年制、夜間部) 【作成について】 授業科目については、講師会等の機会に、授業科目の設定・講義内容についての検討を行い、その結果に基づき、各授業担当者がシラバスの作成を行っている。 シラバスの様式は、授業科目名、必要時間数、担当教員名・到達目標、授業計画、成績評価方法、教科書に関する記載が必要な統一様式である。 【時期について】 授業計画は、前年度中に担当教員が案を作成し、理事長・校長等の決済を経て決定される。年度当初には、学科・科目別の「履修の手引き」として公開している。	
授業計画書の公表方法	本校サイトの「情報公開」に「履修の手引」として公表。 https://www.hollywood.ac.jp/moreinfo/disc/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
学修成果の評価は、実技授業は8割以上出席すること、学科授業は3分の2以上出席することが履修の条件である。そのうえで、筆記試験または実技試験で70点以上であることと、授業に向けた意欲・態度、レポート・宿題等の提出物の内容を総合的に評価し、修得を認定する。 定期試験においては、実技科目の採点は、複数の教員で行い、資格試験に関連する学科の問題は、過去の資格試験の問題を参考にして出題している。その他の学科の問題は実社会で役立つ内容を中心に出題している。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
成績評価、履修・卒業の要件については、学則により規定している。 成績評価については、実習科目と講義科目で基準が異なるものの、出席状況を重視、十分な出席を果たした学生を対象として、定期試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」の評定としている。	

客観的な指標の 算出方法の公表方法	本校のサイトの「情報公開」に「客観的な指標の算出方法の公表方法」として公表。 https://www.hollywood.ac.jp/moreinfo/disc/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 教育基本法等の法令に基づき、美容とファッションに関する知識・技術を学び、人格を高め、美容業界及びファッション業界に有意な人材を育成している。 卒業要件については、各学科が定める所定の科目・単位を、在学期間内にすべて修得することとしている。詳細については、ディプロマポリシーをはじめ、学則、履修の手引き等で公表している。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	本校のサイトの「情報公開」に「卒業の認定に関する方針の公表方法」として公表。 https://www.hollywood.ac.jp/moreinfo/disc/

様式第2号の4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4－①を用いること。

学校名	ハリウッド美容専門大学校
設置者名	学校法人 メイ・ウシヤマ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本法人のサイトの「情報公開」の「財務情報」で公表。 https://mba.hollywood.ac.jp/about/disclosure
収支計算書又は 損益計算書	本法人のサイトの「情報公開」の「財務情報」で公表。 https://mba.hollywood.ac.jp/about/disclosure
財産目録	本法人のサイトの「情報公開」の「財務情報」で公表。 https://mba.hollywood.ac.jp/about/disclosure
事業報告書	本法人のサイトの「情報公開」の「財務情報」で公表。 https://mba.hollywood.ac.jp/about/disclosure
監事による監査 報告（書）	本法人のサイトの「情報公開」の「財務情報」で公表。 https://mba.hollywood.ac.jp/about/disclosure

2. 教育活動に係る情報

① 学科等の情報

(1) 高度トータル美容学科

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
衛生		トータル美容専門課程	高度トータル美容学科			○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	124 単位時間／ <u>単位</u>	17 単位時間／ <u>単位</u>	77 単位時間／ <u>単位</u>	30 単位時間／ <u>単位</u>	単位時間／単位	単位時間／単位
			124 単位時間／ <u>単位</u>				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		49人	13人	21人	21人	42人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2及び3を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4を参照
学修支援等
（概要） ・ 所定の科目が不合格の場合、追試を行う。 ・ 卒業基準に満たない場合、補習を行うこともある。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	9人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 美容業			
（就職指導内容） 就職セミナー、面接指導等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 美容師免許、SBS 1級、パーソナルカラー 2級、JNA ジェルネイル上級 など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
51 人	6 人	12%
(中途退学の主な理由) 進路変更、家庭の事情、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生相談担当者を中心に全教職員がそれぞれの学生の事情に対応している。 担任による個別面談も実施。		

(2) トータル美容学科（２年制・昼間）

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
衛生		トータル美容専門課程		トータル美容学科		○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	67 単位時間／ <u>単位</u>		17 単位時間／ <u>単位</u>	20 単位時間／ <u>単位</u>	30 単位時間／ <u>単位</u>	単位時間／単位	単位時間／単位	
				67 単位時間／ <u>単位</u>					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数
400 人		173 人	38 人		21 人		21 人		42 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
(概要) 様式第２号の３【(3)厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第２号の３【(3)厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の２及び３を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第２号の３【(3)厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４を参照	
学修支援等	
(概要) ・ 所定の科目が不合格の場合、追試を行う。 ・ 卒業基準に満たない場合、補習を行うこともある。	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
83 人 (100%)	0 人 (0%)	73 人 (88%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 美容業、化粧品会社			
(就職指導内容) 就職セミナー、面接指導等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 美容師免許、SBS ２級、パーソナルカラー ３級、JNA ジェルネイル中級 など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
222 人	34 人	15%
(中途退学の主な理由) 進路変更、家庭の事情、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生相談担当者を中心に全教職員がそれぞれの学生の事情に対応している。 担任等による個別面談も実施。		

(3) トータル美容学科（1年制）

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
衛生		トータル美容専門課程		トータル美容学科					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
1 年	昼	27 単位時間／ <u>単位</u>		7 単位時間／ <u>単位</u>	16 単位時間／ <u>単位</u>	4 単位時間／ <u>単位</u>	単位時間／単位	単位時間／単位	
				27 単位時間／ <u>単位</u>					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数
320 人		375 人	375 人		21 人		21 人		42 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2及び3を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳正かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4を参照
学修支援等
（概要） ・ 所定の科目に不合格の場合、追試を行う。 ・ 卒業基準に満たない場合、補習を行うこともある。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
249人 (100%)	186人 (75%)	21人 (8%)	42人 (17%)
（主な就職、業界等） 民間企業全般			
（就職指導内容） 個別指導等			
（主な学修成果（資格・検定等）） ヘア・メイク・ネイル・エステの基礎			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
268 人	19 人	7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、帰国		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生相談担当者を中心に全教職員がそれぞれの学生の事情に対応している。 担任による個別面談も実施。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
高度トータル 美容学科	200,000 円	600,000 円	740,000 円	「その他」は実習費等
トータル 美容学科 (2 年制)	200,000 円	600,000 円	740,000 円	同上
トータル 美容学科 (1 年制)	150,000 円	280,000 円	330,000 円	同上
修学支援(任意記載事項)				
①ハリー・ウシヤマ奨学金(特待生・優待生・奨学生制度)				
②ジェニー・ウシヤマ奨学金(遠隔地出身者支援)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
本校のサイトの「情報公開」で公表。 https://www.hollywood.ac.jp/moreinfo/disc/		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
関係者として関連企業、地域支援者などを含む学校関係者評価委員会を組織し、各委員の知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を実施した。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
独立行政法人大学評価・学位授与機構顧問	令和6年4月1日 ～令和8年3月31日	有識者
前全国定時制通信制高等学校長会 事務局長	同上	有識者
株式会社代表取締役社長	同上	有識者
株式会社代表取締役社長	同上	有識者
前東京都立高等学校校長	同上	有識者
学校関係者評価結果の公表方法		
本校のサイトの「情報公開」で公表。 https://www.hollywood.ac.jp/moreinfo/disc/		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.hollywood.ac.jp/
--